

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020050

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2	林業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	生産体制の強化	政策事務分類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	森林整備推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町森林組合		関係課	#N/A		
事業指標	民有林の除間伐、下刈事業の推進		関係課	#N/A		
事業目標	森林所有者の負担軽減(概ね負担率 30%以下)		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	有 森林施業計画		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	除間伐、下刈事業に対する補助	除間伐、下刈事業に対する補助	除間伐、下刈事業に対する補助	除間伐、下刈事業に対する補助	除間伐、下刈事業に対する補助	除間伐、下刈事業に対する補助	
	事業費(千円)	14,180	3,200	3,200	3,200	2,940	1,640
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	14,180	3,200	3,200	3,200	2,940	1,640	
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0	2,635	2,092	2,368	1,604	
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	8,699	2,635	2,092	2,368	1,604		
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等) 除間伐、下刈事業に対する補助	(実施内容等) 除間伐、下刈事業に対する補助	(実施内容等) 除間伐、下刈事業に対する補助	(実施内容等) 除間伐、下刈事業に対する補助	(実施内容等) 除間伐、下刈事業に対する補助	
	【評価・実績】						
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/縮小	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 概ね自己負担 30%以下	年度達成率 82%	年度目標値 概ね自己負担 30%以下	年度達成率 65%	年度目標値 概ね自己負担 30%以下	年度達成率 74%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度目標値 概ね自己負担 30%以下	年度達成率 19%	年度目標値 概ね自己負担 30%以下	年度達成率 33%	年度目標値 概ね自己負担 30%以下	年度達成率 50%
	備考欄						

事業名	森林整備推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	森林所有者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	自己負担率								
【抱える課題やニーズは】	森林所有者の森林施業意欲が希薄化しており、必要な森林施業が行き届かない森林が発生している	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	森林所有者の森林施業意欲向上と負担軽減	① 軽減後の自己負担額÷総事業費	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>30%以下</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>11%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>272.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	30%以下	実績値	11%	達成度	272.7%
目標年度	平成28年度										
目標値	30%以下										
実績値	11%										
達成度	272.7%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	多面的機能の高い森林の育成及び健全な森づくりの推進	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成28年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①森林所有者への事業費補助	森林環境保全整備事業実施要領に基づき補助対象とされた除間伐、下刈事業で、かつ、雄武町森林組合が受託受任して実施する事業のうち、要件を満たす林分を整備する事業に対して補助した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	森林施業意欲向上のため、森林所有者の負担軽減を図ることで、森林所有者の施業意欲の維持に繋がり、多面的機能の高い森林育成を促進していくことから必要性は高い。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	地域林業の振興や森林資源内容の充実と生産力の増強が図られ、森林の持つ多面的機能の高度発揮に寄与したが、一部の森林所有者の理解が得られず、必要な森林施業が行き届かない森林があることから、今後、さらに森林所有者への働きかけも必要である。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	森林環境保全整備事業の対象となった間伐、下刈に対する補助であり、北海道が示す標準単価を参考にしていることから、事業コストは妥当である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	また、森林所有者の負担軽減に繋がる範囲の補助とした。
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

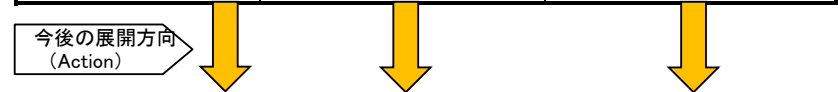
公平	判断の理由	対象となる事業を実施した森林所有者、全てを対象としている。また、森林所有者も応分の負担をしている。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
適切な森林管理が行われることで、森林の持つ多面的機能が高度発揮されることから、森林所有者へ今後さらに働きかけを行い、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/縮小		
森林所有者の負担軽減を図り、森林施業を推進し、多面的機能を有する森林を育成する事業であることから、継続して実施すべき事業であるが、規模を縮小する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 休止 廃止